

7. 想定宮城県沖地震での対応において考えられる課題のまとめ

3章、5章および6章で抽出した想定宮城県沖地震での対応において考えられる課題を表7-1にとりまとめた。

表7-1(1) 想定宮城県沖地震での対応において考えられる課題

分類	区分	各検討から得られた主な課題・問題点の内容
全般	本部の被災	・施設の低い耐震性 ・被災した場合の代替機能の未整備
	人員不足	・発生時間帯や規模による人員不足 ・人的バックアップ体制の検討が不十分 ・応援の在り方が十分に検討されていない ・外部人材の有効活用の不足
移動ルート の途絶・渋滞	孤立集落	・橋梁の被災 ・津波被害 ・道路交通機能の阻害 ・復旧の長期化
	点検中断・遅延	・参集途中の行動規定等の曖昧さ ・点検基準・要領等の未整備 ・専門家でなければ点検が困難
	通行できるルートの渋滞	・道路啓開後の少ない車線に交通が集中する ・多くの放置車両が懸念される、撤去に時間がかかる ・大型車通行可能ルート（特に国道以外）の把握が困難
情報伝達の 困難	専用回線の被災	・専用回線が被災し利用できない ・通信・連絡手段が不足
	一般回線途絶による 現地との連絡途絶	・一般回線の輻輳 ・機器のバッテリー切れ ・FAX による情報伝達で情報が錯綜、遅延する場合がある
	情報共有の不足	・関係機関との連携不足 ・迂回ルート設定時の情報不足

表 7-1(2) 想定宮城県沖地震での対応において考えられる課題

分類	区分	各検討から得られた主な課題・問題点の内容
状況把握の 遅延	CCTV の不足、機能不足	・ CCTV カメラの不足・機能不足
	情報空白期の存在	・ 橋梁被災などによる通行不可による点検等の遅れ ・ 関連機関との情報連携不足 ・ 雪による参集、点検の遅れ
情報提供	マスコミ対応の負荷が大きい	・ 情報共有の不十分さ
	一般からの問合せ対応が負荷	・ 情報提供不足
	情報提供の遅延	・ 特定人物への負荷集中
平常時からの 備えの不足	包括的な協定	・ 複数の道路管理者との業者の競合 ・ 資機材の配置の不足、アンバランス
	職員の対応能力向上	・ 協力体制（河川・道路、事務所間等）の未整備 ・ 異動直後の体制不慣れ ・ 点検・応急復旧の戦略不足 ・ 優先順位づけの未実施
	住民協力の不足	・ 多くの放置車両が懸念される ・ 災害規模等による絶対的人員不足（職員） ・ 住民ボランティア等の活用方法の検討が不十分